

ORCA 完全同居型電子カルテソフト

Dr.Pen Lite スタートパック

セットアップ手順書

(サーバー編)



株式会社ヤマダ電機

はじめに

この度は、**Dr.Pen Lite**スタートパックをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
本ソフトウェアをサーバーへ正しくセットアップいただくために、ご利用前に本書を必ず
お読みください。

Dr.Pen Liteスタートパックは、日医標準レセプトソフト (愛称: ORCA) と完全同居型の電子
カルテソフトです。

Dr.Pen Liteスタートパックをご利用頂くにあたって、本書をよくお読みの上セットアップを
行って下さい。

ご注意

本ソフトのご使用にあたっては、お客様に対する弊社の使用許諾によるものとします。これに基づき、プログラム著作権保護のため、下記の事項について一読された上、ご理解ご承諾くださるようお願い致します。

1. このソフトウェアの著作権は、株式会社ヤマダ電機にあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることはできません。
3. このソフトウェアは、コンピュータ1台について、1セットを導入していただくことになっています。
4. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用権許諾契約書のもとでのみ使用することができます。

本ソフトウェアを不正に使用する事を禁止します。契約において明示的に認められた場合を除き、本ソフトの複製、又は第三者への配布、レンタル、リース、貸与、譲渡することはできません、不正使用が明らかになった場合は、損害賠償請求の対象となります。

目次

第1章 本ソフトウェアの概要.....	6
1-1 Dr.Pen Lite スタートパック とは.....	6
1-2 ご利用の前に.....	7
1-2-1 動作環境.....	7
第2章 セットアップ.....	8
2-1 セットアップの注意事項.....	8
2-2 セットアップ事前作業.....	9
2-2-1 ネットワーク設定.....	9
2-2-2 スタートパックインストールシエルの実行.....	10
2-2-3 バックアップ時間設定.....	11
2-2-4 バックアップ先設定.....	14

第1章 本ソフトウェアの概要

1-1 Dr.Pen Lite スタートバックとは

日医標準レセプトソフト（愛称：ORCA）と完全同居型の電子カルテソフトです。

ORCAと完全同居型のため、ORCAをご使用になられている医療機関様は、本書を参考に

Dr.Pen Lite スタートバックをインストールしていただきますと電子カルテソフトをご利用
になれます。

1-2 ご利用の前に

1-2-1 動作環境

■推奨ハードスペック

ORCA 動作環境 (4.5)	サーバー(端末 5 台以下)	CPU	Intel Core2Duo 以上
		メモリ	2GB 以上
		ディスク	160GB 以上
	サーバー(端末 10 台以下)	CPU	Intel Core2Duo 以上
		メモリ	4GB 以上
		ディスク	160GB 以上
サーバー(共通)	OS	Ubuntu10.04LTS	
	プリンター	特に指定なし	

ネットワーク環境	HUB	100BASE-T 以上 (1000Base-T 推奨)
	ケーブル	カテゴリ-5 以上
	ルーター	特に指定なし
	回線	推奨: 光回線 (インターネット)

Dr.Pen Lite スタート バック動作環境 (必須)	パソコン	CPU	Intel Core2Duo 以上
		メモリ	2GB 以上
		ディスク	160GB 以上
		OS	Windows7Professional
	リモート保守		当社推奨 VPN ソフト

Dr.Pen Lite スタート バック動作環境 (オプション)	プリンター	沖データ	C610dn C711dn
		リコー	C900
	デジタルペン		DP201 (黒ペンモデル)

■動作ソフトウェアスペック

サーバー	OS	Ubuntu10.04LTS
	ORCA	4.5
端末	OS	Windows7Professional

第2章 セットアップ

2-1 セットアップの注意事項

セットアップするソフトウェアや、使用するOS の動作環境に関する注意事項は以下のとおりです。

(一般的なもの)

- 対応しているオペレーティングシステム は、Ubuntu10.04LTSとなっています。
- 対応している日医標準レセプトソフトは、4.5 のみです。
- 本書では、予めオペレーティングシステム・日医標準レセプトソフトが設定されている事を前提に記載されています。

ORCAのインストールに関して

※インストール手順及びインストールCDイメージの詳細は

<http://www.orca.med.or.jp/receipt/tec/lucid/index.rhtml#document>

を参照してください。現在Ver4.5.0版を使用します。

2-2 セットアップ事前作業

2-2-1 ネットワーク設定

Dr.Pen Liteスタートバックは、クライアントサーバーシステムとなっています。その為、クライアント・サーバー間のデータのやり取りを行う為、固定IPアドレスを設定します。

サーバーは基本的に「192.168.10.11」を使用します。端末は「192.168.10.*」

サブネット・マスクは「255.255.255.0」

デフォルトゲートウェイは「192.168.10.1」を使用します。

- 1) Linux サーバーへログインしてsuします。
- 2) アプリケーションメニューを押下します。
- 3) アプリケーションメニューのサブメニューからアクセサリを押下します。
- 4) アクセサリのサブメニューから端末を押下します。
- 5) ターミナルが起動します。
- 6) ターミナルにgedit△「※下記のファイル名」と入力しエンターキーを押下します。
- 7) グラフィカルエディタが開かれます。
- 8) 下記4ファイルのネットワーク設定を変更してください。

「/etc/network/interfaces」

「/etc/hosts」

「/etc/postgresql/8.4/main/pg_hba.conf」

「/etc/resolv.conf」

- 9) ルーターにNTPの機能があれば、「/etc/ntp.conf」のサーバー設定にルーターのipアドレスを記載します。

※ルーターにNTPの機能がなければ「ping ntp.nict.jp」でipアドレスを調べて、「/etc/ntp.conf」のサーバー設定にルーターのipを記載します。

※ 本書では、例としてIPアドレスを192.168.10.11、サブネット・マスクを255.255.255.0、ゲートウェイを192.168.10.1としています。

DNSサーバーは「192.168.10.1」のルーターを指定してください。

2-2-2 スタートバックインストールシェルの実行

Dr.Pen Lite スタートバックを使用する為には、既存のOrcaのインストール以外にも、次のインストールシェルの実行する必要があります。

- 1) wget にて下記のファイルを取得してください。

<http://www.yamada-medical.jp/programs/Ubuntu/Server/Install/Install.sh>

- 2) su後に

```
> sh Install.sh
```

と取得したシェルを実行してください。

- 3) wget にて下記のファイルを取得してください。

<http://www.yamada-medical.jp/drpen/dplsp/update/UbuntuManualUpdate.sh>

- 4) su後に

```
> sh UbuntuManualUpdate.sh
```

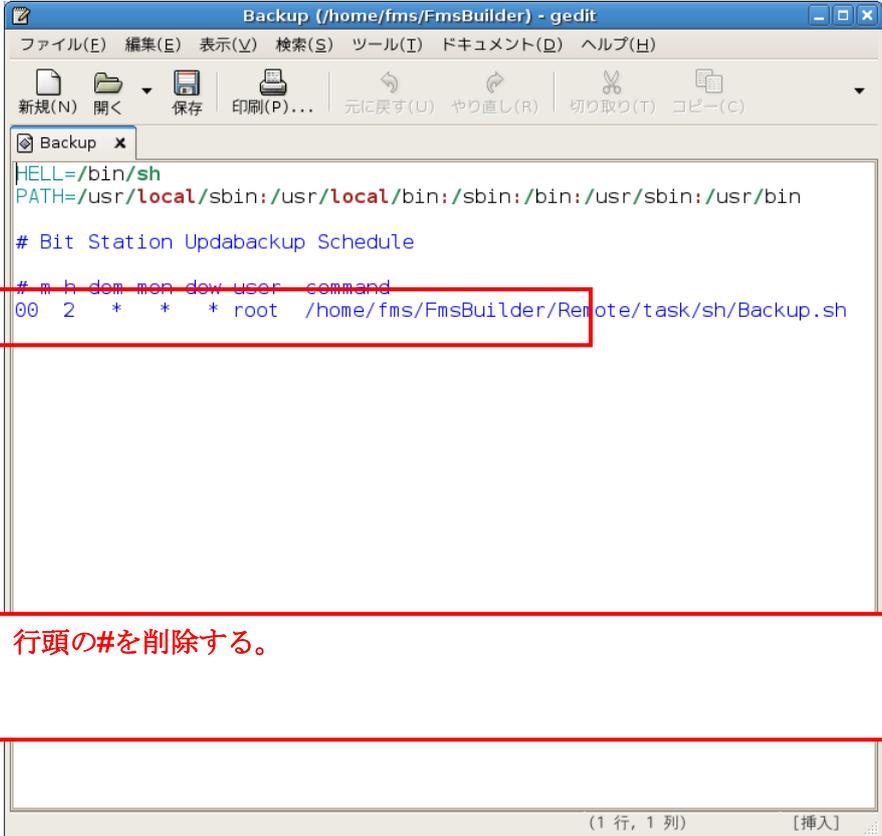
と取得したシェルを実行してください。

2-2-3 バックアップ時間設定

- 1) Linux サーバーへログイン後suします。
- 2) アプリケーションメニューを押下します。
- 3) アプリケーションメニューのサブメニューからアクセサリを押下します。
- 4) アクセサリのサブメニューから端末を押下します。
- 5) ターミナルが起動します。
- 6) ターミナルにgedit△/etc/cron.d/BackUpと入力し、エンターキーを押下します。
- 7) グラフィカルエディタが開かれます。

- 8) エディタ上の#00△△2△△をバックアップを行いたい時間に変更します。
書式は分△△時△△の形式です。

入力例



```
Backup (/home/fms/FmsBuilder) - gedit
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ツール(I) ドキュメント(D) ヘルプ(H)
新規(N) 開く 保存 印刷(P)... 元に戻す(U) やり直し(R) 切り取り(T) コピー(C)
Backup x
HELL=/bin/sh
PATH=/usr/local/sbin:/usr/local/bin:/usr/sbin:/usr/bin
# Bit Station Updabackup Schedule
# m h dom mon dow user  command
00 2 * * * root /home/fms/FmsBuilder/Remote/task/sh/Backup.sh
```

行頭の#を削除する。

- 9) 保存ボタンを押下します。
- 10) ×ボタンを押下し、ターミナルに戻ります。
- 11) ターミナルにexitと入力し、エンターキーを押下します。
- 12) ターミナル画面が終了します。
- 13) デスクトップメニューを選択します。
- 14) メニューからシャットダウンを選択します。
- 15) このシステムをシャットダウンしますか?とメッセージボックスが表示されます。

- 16) 再起動ボタンを押下します。
これでバックアップ時間の設定は終了です。

2-2-4 バックアップ先設定

Dr.Pen Lite スタートバックでは、デフォルトのバックアップ先として、ローカルハードディスクに、dpl_bkup.00フォルダを (/var/tmpに) 作成し、バックアップを取得します。

又、お客様の環境で、外部デバイスへのバックアップを考慮し、bkup_device0・bkup_device1・bkup_device2の3つのマウントポイントに対して、一週間分のバックアップを取得する事が可能です。

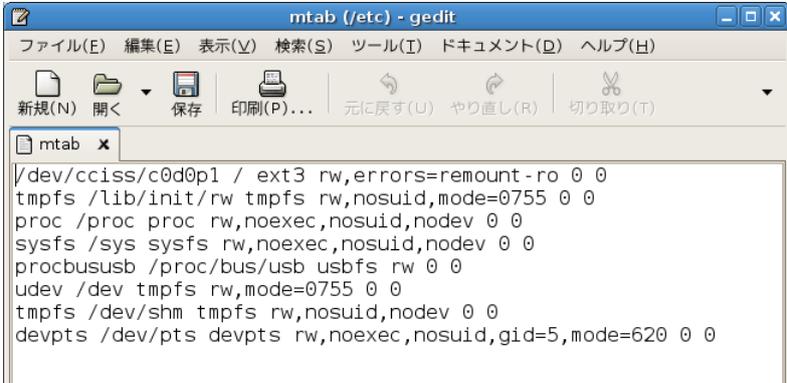
※本作業前に、既にバックアップデバイスが取り付けられている場合は、事前に外します。

※提供しているバックアップスクリプトは、予告なく変更する事があります。

お客様環境では、スクリプトの変更は行わないで下さい。

- 1) Linux サーバーへログイン後suします。
- 2) アプリケーションメニューを押下します。
- 3) アプリケーションメニューのサブメニューからアクセサリを押下します。
- 4) アクセサリのサブメニューから端末を押下します。
- 5) ターミナルが起動します。
- 6) アプリケーションメニューのサブメニューからアクセサリを押下します。
- 7) アクセサリのサブメニューから端末を押下します。
- 8) ターミナルが起動します。
- 9) ターミナルにgedit△/more/mtabと入力し、エンターキーを押下します。
- 10) グラフィカルエディタが開かれます。

- 11) エディタ上の内容をメモに取ります。



```
mtab (/etc) - gedit
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ツール(T) ドキュメント(D) ヘルプ(H)
新規(N) 開く 保存 印刷(P)... 元に戻す(U) やり直し(R) 切り取り(T)
mtab x
/dev/cciss/c0d0p1 / ext3 rw,errors=remount-ro 0 0
tmpfs /lib/init/rw tmpfs rw,nosuid,mode=0755 0 0
proc /proc proc rw,noexec,nosuid,nodev 0 0
sysfs /sys sysfs rw,noexec,nosuid,nodev 0 0
procbususb /proc/bus/usb usbfs rw 0 0
udev /dev tmpfs rw,mode=0755 0 0
tmpfs /dev/shm tmpfs rw,nosuid,nodev 0 0
devpts /dev/pts devpts rw,noexec,nosuid,gid=5,mode=620 0 0
```

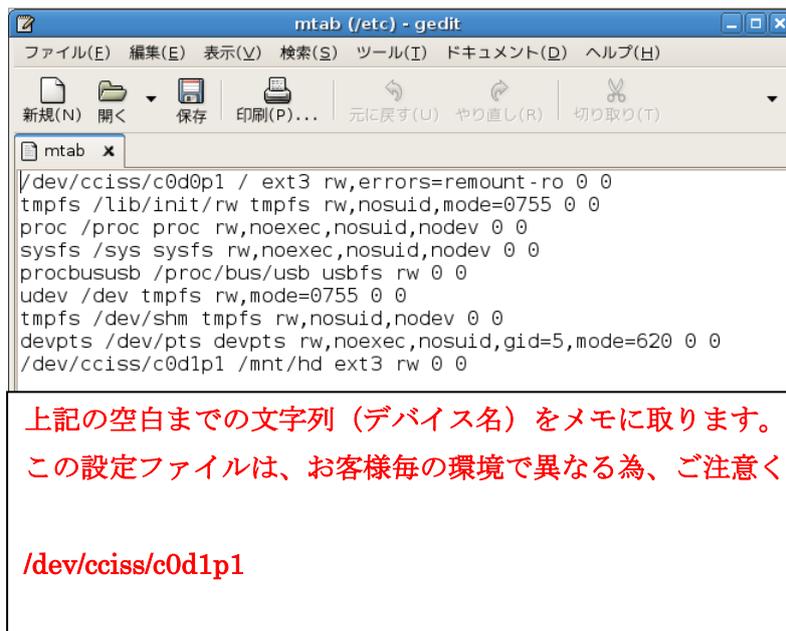
上記の空白までの文字列をメモに取ります。
この設定ファイルは、お客様毎の環境で異なる為、ご注意ください。

/dev/cciss/c0d8p1
tmpfs
proc
sysfs
procbususb
udev
tmpfs
devpts

- 12) ×ボタンを押下し、ターミナルに戻ります。
- 13) ターミナルにexitと入力し、エンターキーを押下します。
- 14) ターミナル画面が終了します。
- 15) デスクトップメニューを選択します。
- 16) メニューからシャットダウンを選択します。
- 17) このシステムをシャットダウンしますか?とメッセージボックスが表示されます。

- 18) シャットダウンボタンを押下します。
- 19) Linux サーバーの電源が落ちたのを確認し、外部デバイスを接続します。
- 20) Linux サーバーの電源を入れます。
- 21) Linux サーバーへログインします。
- 22) アプリケーションメニューを押下します。
- 23) アプリケーションメニューのサブメニューからアクセサリを押下します。
- 24) アクセサリのサブメニューから端末を押下します。
- 25) ターミナルが起動します。
- 26) アプリケーションメニューのサブメニューからアクセサリを押下します。
- 27) アクセサリのサブメニューから端末を押下します。
- 28) ターミナルが起動します。
- 29) ターミナルに`gedit△/more/mtab`と入力し、エンターキーを押下します。
- 30) グラフィカルエディタが開かれます。

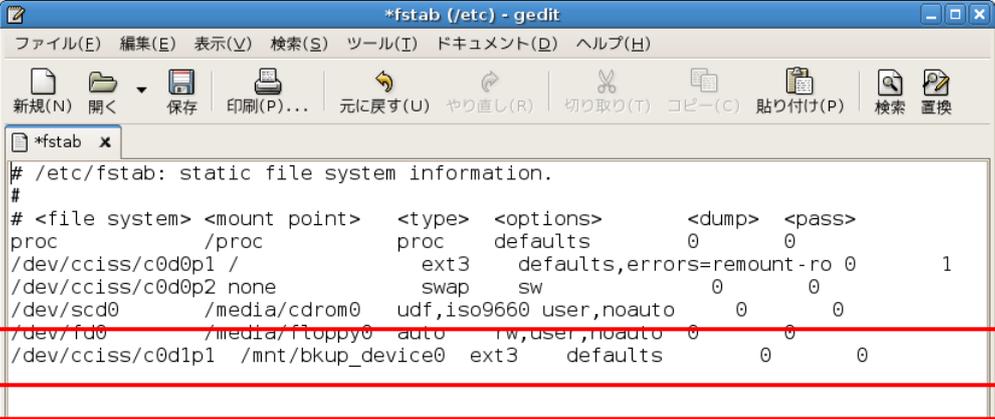
- 31) エディタ上の内容をメモに取ります。
ここでは、11) で取得したメモと比較し、増えた物だけをメモします。
ここで増えた物がバックアップ先デバイス名となります。



- 32) ×ボタンを押下し、ターミナルに戻ります。
- 33) ターミナルにgedit△/etc/fstabと入力し、エンターキーを押下します。
- 34) グラフィカルエディタが開かれます。
- 35) スクロールバーを操作し、最終行を表示します。

36) 最終行にデバイス名△マウント先△ext3△defaults△0△0を挿入します。

入力例



```
# /etc/fstab: static file system information.
#
# <file system> <mount point> <type> <options> <dump> <pass>
proc /proc proc defaults 0 0
/dev/cciss/c0d0p1 / ext3 defaults,errors=remount-ro 0 1
/dev/cciss/c0d0p2 none swap sw 0 0
/dev/scd0 /media/cdrom0 udf,iso9660 user,noauto 0 0
/dev/fd0 /media/ftoppy0 auto rw,user,noauto 0 0
/dev/cciss/c0d1p1 /mnt/bkup_device0 ext3 defaults 0 0
```

/dev/cciss/c0d1p1△/mnt/bkup_device0△ext3△defaults△0△0
を挿入。

更にバックアップデバイスを追加する場合は、
デバイス名△/mnt/bkup_device1△ext3△defaults△0△0
デバイス名△/mnt/bkup_device2△ext3△defaults△0△0
とします。

37) 保存ボタンを押下します。

38) ×ボタンを押下し、ターミナルに戻ります。

39) ターミナルにexitと入力し、エンターキーを押下します。

40) デスクトップメニューを選択します。

41) メニューからシャットダウンを選択します。

42) このシステムをシャットダウンしますか?とメッセージボックスが表示されます。

43) 再起動ボタンを押下します。

これでバックアップ先の設定は終了です。

Dr.Pen Lite スタートパックセットアップ手順書 (サーバー)

2010年11月16日初版発行

2012年6月22日改訂版

編著 株式会社ヤマダ電機

発行 株式会社ヤマダ電機 IT事業本部 法人事業部 医療ソリューション部
〒370-0841 群馬県高崎市栄町1-1

無断転載禁止

本書は予告なく変更されることがあります。予めご了承下さい。